

12—16 OCTOBER 2026

WEEK **42**

NAGANI WEEKLY REVIEW

一週間の変化を、来週の判断へ。

ミャンマー週刊レビュー

17 OCT 2026 · 日本語版

01 / WEEK 42

為替と燃料を、同じ方向の
変化と決めつけない

→

02 / WEEK 42

稼働式・物流計画を、利用
可能な供給と分ける

→

03 / WEEK 42

帰任の書類と、来週の受付日
を先に点検

→

12 OCT 00:00 — 16 OCT 23:59 MMT

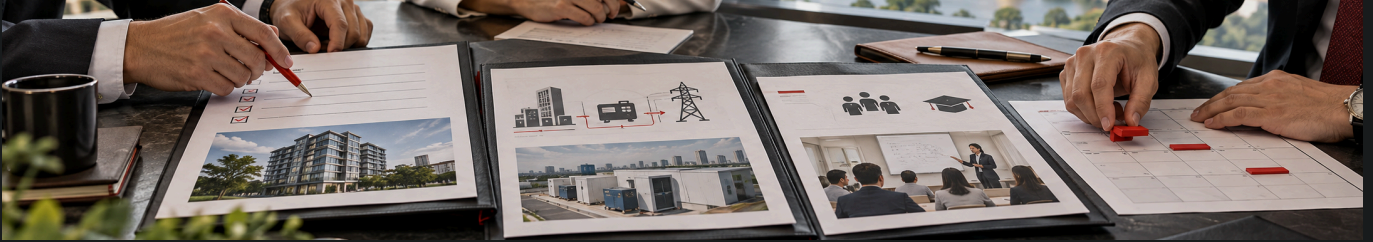
日本語 / English / မြန်မာ

概念画像／実際の現場写真ではありません。

01 WEEKLY REVIEW

12-16 OCT 2026 · WEEK 42

今週の結論と、決めること



概念画像／実際の会議・現場写真ではありません。

01 為替と燃料を、同じ方向の変化と決めつけない

MRPのUSD売り参考値は12→15日で2.83%上昇。一方、CSOのヤンゴン軽油は12→16日で10.30%低下。支出の通貨と油種を分けて再見積りする。

→

02 稼働式・物流計画を、利用可能な供給と分ける

タンリン製油所と港湾計画は供給側の進展。実出荷、運行日、品質、全区間の料金が揃うまで、既存の調達・物流条件を置き換えない。

→

03 帰任の書類と、来週の受付日を先に点検

海外就労者の再出国に関する報道は個別条件の確認が必要。20日の研修受付開始と20～22日の油販売会は、締切や開催結果と区別して扱う。

→

02 WEEKLY REVIEW

12-16 OCT 2026・WEEK 42

今週の新展開と、前週からの宿題

対象は10月12日00:00～16日23:59 MMT。公表日と出来事の日を分けています。日次に掲載した週外の出来事を、今週の新発生として数えていません。

公表	案件	日付・状態の区別
12 Oct	再出国をめぐる報道	直前3週間の状況。新法の施行日ではない
13-14 Oct	ダウェー空港・水産物流の続報	12～13日の視察・構想。就航・輸出実績は未確認
15 Oct	14日の製油所稼働式・港湾構想	商業供給と運行条件は別途確認
15 Oct	油販売会・研修受付の案内	開催・受付は翌週以降
16 Oct	学校太陽光設備・リハビリ支援	設備は15日引渡し。支援人数は年内累計

前週は電力制約、製造業PMI、冷蔵施設計画を取り上げました。今週は設備や物流の発表が増えても、稼働時間・運賃・受注の実証は揃っていません。前週の「供給条件を確認する」という判断を変えるには、契約条件と実運用の証拠が必要です。

日次5号：延べ36掲載、重複整理後31案件。相場・翻訳・索引は記事件数に含めません。

案件の数え方

今週公表の9案件、今週の開催予定を追う1案件、期限・訂正を追う継続1案件です。開催案内だけの案件は、新しい成果に数えません。前週のPMI・冷蔵施設計画は背景比較であり、11案件には加算していません。

[The Irrawaddy](#)・[12 Oct](#)・[GNLM](#)・[15 Oct](#)・[GNLM](#)・[16 Oct](#)

03 WEEKLY REVIEW

12-16 OCT 2026 ・ WEEK 42

現地市場参考値：金曜の終点は未取得

2026	USD Buy	USD Sell	JPY Buy	JPY Sell
12 Oct	4,415	4,522	27.98	28.70
13 Oct	—	—	—	—
14 Oct	4,465	4,565	28.16	28.86
15 Oct	4,550	4,650	28.80	29.55
16 Oct	—	—	—	—

Market Rate Plus。単位はMMK/1 USDまたは1 JPY。Buyは提供側の外貨買い、Sellは外貨売り。更新日を基準に並べた週内履歴です。17日の再確認でも表示は15日。16日の値を補完せず、週間騰落率とは呼びません。原店舗・現金店頭との一致・取引条件は未確認。

分析 | USD売りは4,522→4,650、+128 MMK (+2.83%)。JPY売りは28.70→29.55、+0.85 (+2.96%)。いずれも12→15日の観測区間です。外貨支払がある企業は見積有効期限と決済日を確認。為替予約や実取引可能性を本誌は確認していません。

仮定例 | USD1,000の支払を、この2つの売り参考値だけで比べると差は128,000 MMK。数量×レート差の感応度であり、手数料・受渡条件を含む実損益ではありません。JPY建て支払や送金受取は別計算にします。

Market Rate Plus ・ 12/14/15 Oct; checked 17 Oct ↗

比較できること・できないこと

同じMRP系列の更新日間の差は計算できます。ただし数量上限、決済手段、受渡場所、手数料が未確認のため、企業がその価格で決済できるとは言えません。来週は見積り時点と支払時点を両方記録すると、予算差と約定差を区別できます。

日本からの送金：受取方法別に比べる

2026	現金	銀行口座	電子ウォレット
12 Oct	25.0461	25.0915	25.1394
13 Oct	24.9829	25.0282	25.0759
14 Oct	25.0180	25.0580	25.0980
15 Oct	25.0300	25.0700	25.0900
16 Oct	25.0500	25.0813	25.1000

Kyodai公式の各日表示値、MMK/1 JPY。現金・銀行口座・電子ウォレットを混ぜません。表示時刻の時間帯は未記載。取得は各日朝で同一時刻ではなく、金額別条件と手数料も未確定です。数値の履歴であり、手取り額の週間比較ではありません。処理時レートが適用されます。

[Kyodai Remittance · 12-16 Oct ↗](#)

CBM · 16 OCT 2026

CBM別系列 | 16日：USD参考2,100、市場基準3,660 MMK/1 USD。JPY参考13.2924、市場基準23.1668 MMK/1 JPY（原表100円値1,329.24／2,316.68を100で除算）。銀行間加重平均3,841.2、銀行・顧客取引加重平均3,673.3 MMK/USDはさらに別系列。MRPや送金との差を利益とみなしません。

[CBM reference / market benchmark ↗](#) · [CBM transaction-weighted series ↗](#)

05 WEEKLY REVIEW

12-16 OCT 2026 ・ WEEK 42

金曜までの相場：燃料は油種で逆方向

系列・品種	単位	12 Oct	16 Oct	変化
金24K	MMK/tical	7,100,000	7,100,000	0.00%
米 Emata Medium / Sinthwe Old	MMK/pyi	4,800	4,800	0.00%
米 ShweBo Pawsan Medium / Old	MMK/pyi	8,500	8,500	0.00%
ヤンゴン92	MMK/gallon	20,678	21,173	+2.39%
ヤンゴン軽油	MMK/gallon	22,500	20,183	-10.30%
落花生油 Special / A May Htwar	MMK/viss	31,500	32,000	+1.59%

CSOのヤンゴン公表系列、12→16日。同じ品種・等級・元単位を比較。金はShwe Bon Thar Street市場の24K、売買方向・個店不明。燃料は個店未特定、軽油は非プレミアム。gallon→L、pyi→kgの換算はしていません。公表値であり店頭確約価格ではありません。

分析 | 為替上昇だけで全原価が増えるとは限りません。92ガソリンと軽油では公表価格の向きが違います。調達表は油種、地域、配送費、支払日を固定して比較する必要があります。金・米の据え置きはこの系列の範囲であり、全店・全等級の横ばいを意味しません。

[CSO ・ 12-16 Oct 2026 ↗](#)

家計と事業で確認する違い

家庭は同じ商品・内容量の購入総額を比較。飲食店は油の使用量と廃棄、運送業は車種別の燃料消費を追加します。CSOは公表系列で、個別事業者の納入契約・在庫費用は含みません。軽油の週末変化が次回納入価格に反映されるか、見積書で確かめます。

株式：金曜の反発で月曜終値を上回る

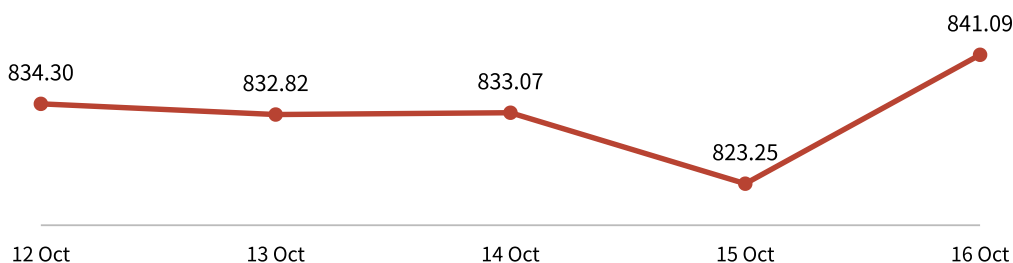
16 OCT ・ MAIN BOARD

841.09

12 → 16 OCT

+0.81%

MYANPIX ・ Main Board ・ 13:00 MMT



YSX Main Board、各営業日13:00 MMT終値。月曜834.30→金曜841.09、+6.79（+0.81%）。前週金曜826.13との比較は+1.81%。比較の起点が違うため両者を混同しません。Pre-Listing Boardを含めていません。

分析 | 木曜の823.25から金曜は17.84ポイント反発。ただし、限られた銘柄の指数を家計や企業全体の景気と同一視できません。指数の動きと個別株の流動性・注文成立条件は別に確認する必要があります。本誌は売買を推奨するものではありません。

[YSX ・ 16 Oct 2026 13:00 MMT ↗](#)

国債：別の指標

国債価格：未確認。最新の公表入札利率・利回り：最新原結果の数値を判読・確認できず。価格、利率、利回りを混同せず、欠測をゼロや横ばいにしません。

物流計画：ルート変更は全区間の条件から

事実と未確認

事実 | GNLMの13～14日報道はダウェー空港の整備と水産物航空輸送の構想を伝え、15日報道はティラワへの鉄道アクセス改善などを紹介しました。別案件です。定期便、貨物の受付条件、鉄道運行開始日、通し運賃は未確認です。

全区間の時間

分析 | 水産品では空港までの集荷、低温保管、通関、到着後配送のどこかが遅れれば、飛行時間の短縮だけでは廃棄率を改善できません。港湾の鉄道接続も、荷役待ちと末端配送を含む総日数で判断すべきです。

比較の手順 | 提案

読者の確認 | ①同じ商品・重量・温度条件で、既存と候補の全区間見積りを取る。②受渡責任、遅延時の補償、検収後支払を確認。③試験便で時間と破損・廃棄を記録する。運行表と責任分担が出なければルート変更を保留。これは提案で、輸送改善の実績ではありません。

[GNLM · 13-14 Oct ↗](#) · [GNLM · 15 Oct ↗](#)

海外就労：帰任の遅れを事業計画に織り込む

報道の範囲

事実 | The Irrawaddyは12日、直前3週間に300人超の海外就労者が再出国を認められず、税・送金の証明不足が主因と報じました。独立報道であり、原通達や全員への一律適用を確認したものではありません。報道日を新制度の施行日とはしません。

影響の経路 | 分析

分析 | 雇用主には欠員、本人には追加滞在費、家族には収入時期の遅れが生じます。ただし人数報道から発生確率や平均遅延日数は計算できません。帰任日を一日に固定した配置より、代替業務と連絡期限を決めておく方が現実的です。

予約前の確認 | 提案

確認事項 | 渡航先・本人の資格に合う窓口で、必要書類と対象期間を確認。税・送金証明、休暇許可等の氏名を照合し、予約の取消・変更条件を確認します。個人情報が必要な相手に必要な範囲だけ提供。書類が揃わない段階で出国可能と案内しないことを提案します。

[The Irrawaddy](#) ・ 12 Oct 2026 ↗

製油所と太陽光：設備から供給へ、次の証拠

製油所

事実 | GNLMは15日、タンリン製油所第1期の稼働式が14日に行われたと報道。実生産量・商業出荷・品質試験結果は本号で未確認です。分析 | 調達先の候補が増える可能性と、既存の燃料予算を下げられることは別。納入量・品質規格・輸送込み価格を揃えて初めて比較できます。

[GNLM ・ 15 Oct ↗](#)

太陽光設備

事実 | GNLMの16日報道では、15日にインセイン第6高校へパネル54枚、インバーター3台、蓄電池6台を引渡し。原報道の発電量表記は単位が不明確なため採用しません。分析 | 台数では連続稼働時間を算定できません。負荷kW、使用可能な蓄電量kWh、変換損失、曇天時運用を分けて確認します。

[GNLM ・ 16 Oct ↗](#)

仮定の点検式 | 使える蓄電量10 kWh、一定負荷2 kWなら、損失を無視した上限は5時間。実際は変換損失や残量制限で短くなります。この数値は上記の学校設備を表していません。購入判断では保証、交換費、停電時に守れる業務を加えて比較します。

農業・食品：来週は数量と品質を持って動く

Food Systems Forum · 16 OCT

公式案内ではFood Systems Forumを16日、ヤンゴンのWyndham Grandで予定。参加承認と一般登録は別です。開催成果・契約成立は未確認。会議の存在を需要の証拠にせず、対象商品、買い手の等級、物流、検収・支払条件を一つの仕様書にまとめることを提案します。

[Myanmar Agri-food Week · programme; checked 17 Oct ↗](#)

MEOMA · 20-22 OCT

GNLMの15日報道ではMEOMAの食用油販売会を20～22日、LanmadawのMin Ye Kyaw Swar StreetとYankinのYanshin Streetで予定。価格・開場時刻・数量制限は未確認。CSOの特定落花生油は週初31,500→週末32,000 MMK/vissですが、販売会の商品の価格ではありません。

[GNLM · 15 Oct ↗](#) · [CSO · 12-16 Oct ↗](#)

比較の方法 | 同じ油種・純度・正味量で、配送費を加えた総額を比較します。単価が安くても使用期限までに使い切れなければ廃棄が増えます。通常使用量、保存条件、返品可否を確認して購入量を決める。vissとLを根拠なく換算しません。

短報：数字の対象を間違えない

国家規格：累計と義務を分ける

規格1,131件は累計。GNLMの15日報道は14日の発言を伝えています。全規格が新たに義務化されたという意味ではありません。対象製品の規格番号・版、輸入国と買い手の要件、施行日を原資料で確認してから試験・認証費用を見積もります。原一覧と義務範囲は未確認。

[GNLM · 15 Oct ↗](#)

リハビリ支援：年間の数字

GNLMの16日報道はミッチーナのリハビリ施設を紹介。2026年の支援170人、そのうち補助具提供75人は年内累計で、今週の新規利用者数ではありません。利用資格、紹介状、費用、待機期間を施設で確認する必要があります。現場能力と利用者への独自確認はしていません。

[GNLM · 16 Oct ↗](#)

共通の読み方

累計は規模を、週内の増分は変化を示します。母数・期間・対象地域が違う数字は比率にしません。規格数から輸出の増加、支援人数から施設の空き枠を推定せず、実際に使える条件へ戻って確認することが大切です。

来週の確認事項：開始・締切・終了を分ける

20 OCT · VFRDC

VFRDC (Yemon, Hlegu) の野菜・種子生産研修は、10月20日受付開始、11月1日～2027年2月28日が研修期間 (GNLM 15日)。20日は締切ではありません。資格、定員、費用、受付時刻、通学負担を確認してから参加判断。収量・所得の増加は保証されていません。

[GNLM · 15 Oct ↗](#)

締切経過・訂正

終了案件 | ITD-1/2026の電子政府ソフト開発入札は15日13:00 MMTが提出期限。書類販売は6～15日で、14日終了とした日次14日号を15日号で訂正済み。延長は未確認のため応募可能として掲載しません。JITCOの13日申込期限も経過しています。

[ITD-1/2026 original notice ↗](#) · [JITCO · 8 Oct ↗](#)

来週の提案 | 外貨支払は数量と決済日を固定して再見積り。物流は通し料金と責任分担を入手。就労は本人ごとの書類を点検。条件が揃えば小口・短期間で試し、価格・納期・品質のどれかが不明なら拡大を保留する。社内指示や実施済みの活動ではありません。

必要な記事へ戻る

01  政治・国際関係・安全	—	02  経済・金融・市場	 p.4
03  法律・税務・規制	 p.12	04  不動産・建設・都市開発	—
05  人材・雇用・教育	 p.9	06  AI・IT・通信	 p.13
07  エネルギー・資源・公益インフラ	 p.10	08  製造業・自動車・小売	—
09  貿易・物流・交通	 p.8	10  農業・水産・食品	 p.11
11  医療・保健	 p.12	12  観光・ホテル・飲食	—

「—」は本号に独立記事なし。該当ニュースが存在しないという意味ではありません。

[暮らし・安全](#)[日本との関係](#)[企業の動き](#)[気象・災害](#)[イベント・募集・締切](#)

12カテゴリーを探索し、日英38検索を実施。本文は重要な11案件と相場に絞りました。NNAは一覧・導入文のみで有料本文未取得。MYANMAR JAPON、公式発表、独立報道を照合しましたが、現地取材・個店照会は未実施。再取得できない原公示と未確認の実施結果は留保。写真の権利が不明な記事は転載せず、独自の比較表・確認手順を使用しました。